

毎週日曜発行 2017 10/29

# こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



来週の日曜日、11月5日は何の日か知っていますか？ 答えは「津波防災の日」(日本) または、「世界津波の日」(国連)です。津波への関心を高めて、災害に備える日として制定されました。

では、なぜ「11・5」なのでしょう。これは江戸時代後期の1854年11月5日(旧暦)、和歌山県を大津波が襲った時に、浜口梧陵とい



及川アドバイザーの

## ぼうさい 学ぼう 防災

⑦

う人が稲むらに火を付けて、村人を安全な場所に誘導した実話に由来しています。そこで実話をもとに「稲むらの火」という物語が作られました。

大切な稲むらを燃やしても、津波が来ることを早く知らせる多くの命を助け、被災地の復興に

も力を注いだ例として、紙芝居や教科書の教材になり世界で読まれています。この機会に読んでみてはいかがでしょうか。

さて、普通の「波」と「津波」は、何が違うのでしょうか。

普通の波は、水面が風であおられて起こりま

### 11月5日は世界津波の日

# 「海水の壁」30センチでも危険

す。津波は、地震が起きた近くの海水全体が押し上げられて起こるので、「海水の壁」が押し寄せてくる感じがします。30センチの津波は大したことがないと思うかもしれませんが、子どもや高齢者は転んで流される可能性がります。1メートル以上になると大人でも流され、流れくる物にぶつかり死亡する確率もかなり高いと

いわれています。海の近くにいる時に、大きな揺れや長い揺れを感じたら、すぐに逃げましょう。キーワードは「より早く・より高く・より遠くへ」です。津波ハザードマップなどで津波避難エリアと避難する場所を確認しておきましょう。

(仙台市地震防災アドバイザー・及川由佳里)

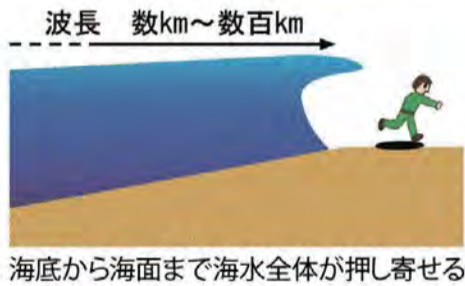
|| 最終週に掲載

### 津波だ! いなむらの火をけすな

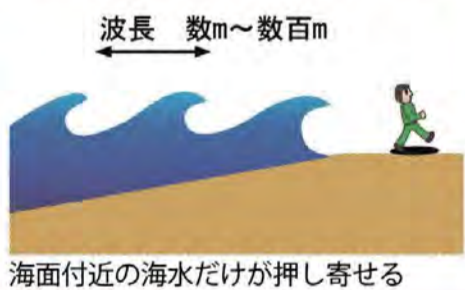
「稲むらの火」を題材にした紙芝居の一コマ(一般財団法人都市防災研究所提供)。紙芝居はインターネットからダウンロードできます。上記タイトル名で検索してください。



津波



波



津波と波のちがい (気象庁提供)

#### 11月5日、仙台市で津波避難訓練

11月5日(日)午前8時33分、宮城県に大津波警報が発表されたという想定で津波避難訓練を実施します。仙台市内でスマートフォンや携帯電話などをお持ちの方に、訓練の緊急速報メールを送信します。屋外拡声装置やヘリコプター・消防車両などによる広報訓練と津波避難エリアからの避難訓練を行います。

#### 今週の注目ニュース

◇11月1日(水) 2018年用の年賀はがき発売(全国)

当初の発行枚数は17年用にくらべ9%少ない約26億枚。メールなどの広まりで、利用者は年々へっているんだ。

◇3日(金) アップルのスマートフォンの新製品「iPhoneX(アイフォーンテン)」発売(全国)

大ヒットしたアイフォーンの発売10年を記念した高級品。世界でスマートフォンを売る会社の競争が激しく、売れ行きが注目されているよ。

きょうの紙面

2 ニコ☆プチ

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7

かほくワークシート

8 投稿特集